

「こおりやまの米」通信

平成29年6月1日

編集:郡山市

JA福島さくら郡山地区本部(Tel.921-0533)

NOSAI福島郡山田村支所(Tel.933-3307)

県中農林事務所農業振興普及部(Tel.935-1310)

発行:郡山市農作物生産対策協議会(郡山市園芸畜産振興課 Tel.924-3761)



郡山市
イメージキャラクター
「がくとくん」

Vol. 4 除草・病虫害防除・水管理

* 過去の記事は郡山市ホームページから見る事が出来ます。

こおりやまの米通信

検索

1 水管理 ~活着後は浅水管理~

(1) 活着後~有効分けつ決定期

・活着後(移植3~5日後)は浅水で水温の日較差を大きくし、有効茎を早期に確保しましょう。

・水深の目安は下記の通りです

暖かい日:日中止水で3~4cm、夜間7cmとすると水温を高く維持することができます。

寒い日や風の強い日:生育に応じた深水管理とし、保温や蒸散の抑制に努めましょう。

・除草剤使用直後の落水は行わないように注意!

(2) ガス湧き対策

地温が上昇してくると、前年のワラが分解されガスが発生します。ガスが多量に発生すると、稲は根腐れを起こし、生育不良を起こしてしまいます。

ほ場に入ったときに、足先から30cm先まで泡が出てくる場合は多量発生の状態です。

3日程度落水してガスを抜き、再度入水しましょう。ガスが原因の場合、1週間程度で葉色が回復してきます。

2 藻類・表層はく離対策

~移植後高温が続くと発生が増えます~

多発すると水温上昇を妨げる、除草剤の処理層が破壊されるなどの害があります。また、直播栽培では苗立不良の原因ともなります。

【対策1】水の入・排水

藻類→ほ場の水を入れ替える

表層はく離→田面水を排出し、2~3日後に土壌が落ち着いてから水を導入する。

【対策2】除草剤

水の入替えが困難な場合はモゲトン粒剤(2kg/10a)を湛水散布する。

【対策3】天候に応じ様子を見る

表層はく離は梅雨に入ると雨に打たれ自然に消滅します。また、藻類は水温が30℃を超えると死滅します。

平成29年度農薬危害防止運動実施中!

~農薬使用前にもう一度ラベルを確認!~

- ・誤飲・誤食防止のため、農薬は施錠して保管
- ・土壌くん煙中は被覆資材を使用する
- ・周辺住民に配慮した農薬の使用

3 除草剤 ~今が後期剤使用の最後のタイミングです~

【除草剤に記載のある雑草葉齢】

草種	ヒエ	ヒエと広葉雑草		広葉雑草	
商品名	ヒエクリーン 1キロ粒剤	フォローアップ 1キロ粒剤	ワイドパワー粒剤	バサグラン粒剤 (ナトリウム塩)	
使用時期	移植	移植後15日~ ノビエ4葉期 但し、収穫45日前まで	移植後15日~ ノビエ5葉期 (イネ4葉期以降) 但し、収穫60日前まで	移植後20日~ ノビエ5葉期 但し、収穫60日前まで	移植後15~55日 但し、収穫60日前まで
	直播	イネ3葉期~ ノビエ4葉期 但し、収穫45日前まで	イネ3葉期~ ノビエ5葉期 但し、収穫60日前まで	イネ4葉期~ ノビエ4葉期 但し、収穫60日前まで	イネ3葉期~ 入水50日後 但し、収穫60日前まで
使用量	1kg/10a	1kg/10a	3kg/10a	3kg/10a	
使用方法	湛水散布		落水散布又は ごく浅く湛水して散布		
注意			処理後2日以内に降雨があると 効果が不十分になるおそれがある		

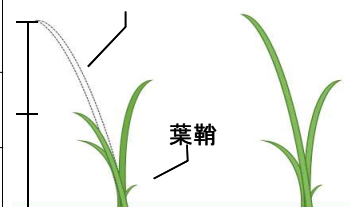
水田内の雑草の
平均



水田内で
最も生育が進んだ
雑草の葉齢

【ノビエの葉齢の数え方】

展開したときの長さを予測し、10等分して判断



2.5葉期

3葉期

4 葉いもち防除

(1) 置き苗の処分

補植用の置き苗は葉いもちの発生源となります。

補植作業は5月末までに完了し、置き苗は水田やその周囲に放置しないようにしましょう。梅雨まで放置しておく、置き苗にはいもち病が発生する恐れがあります。なお、連続する欠株範囲が60cm以下であれば収量に影響はありません。

(2) 本田の粒剤散布

育苗箱施用剤を使用していない水田では、オリゼメート粒剤やコラトップ粒剤5を、いもち病の初発10日前～初発時(平坦部では6月20日頃、山間部では6月25日頃)までに散布しましょう。散布後7日間程度は落水せず、止水で管理してください。

【QoI剤耐性いもち病菌の発生】

昨年、福島県においてもQoI剤耐性菌の発生が確認されました。箱施用剤と本田散布剤に連続でQoI剤を使用すると耐性菌発生のリスクが高くなります。

種類	商 品 名	
箱施用剤	・嵐プリンス箱粒剤6	・嵐ダントツ箱粒剤
	・嵐プリンス箱粒剤10	・嵐スタークル箱粒剤

箱処理剤として上記の薬剤を使用したほ場では下記の剤を使用しないでください！

種類	商 品 名	
本田散布剤	・アミスターエイト	・イモチミン粒剤
	・アミスタートレボンSE	・イモチエースクラップ粒剤
	・オリブライト1キロ粒剤	・イモチエーススタークル粒剤
	・イモチエース粒剤	・オリブライト250G
	・イモチエース1キロ粒剤10	・オリブライト粒剤

飼料用米に取り組みましょう！

現在、郡山市では主食用米の過剰作付が見込まれています。

米価下落を防ぐため、飼料用米作付を拡大しましょう。

経営所得安定対策の取組申請書類等は6月9日(金)までに、認定方針作成者(JA、米集荷業者)または、郡山市農業政策課(Tel 924-2201)へ提出してください！

提出が遅れた場合、助成金を受け取ることが出来なくなります。

忘れずに、期限内に提出してください。



5 害虫防除 ～生育初期から害虫防除を徹底しましょう！～

【イネドロオイムシ】昨年多発した水田では特に注意！

気温が低く曇天が続くと被害を受ける期間が長引きます。育苗箱施用剤を使用していない水田、または使用してもイネドロオイムシが多発した場合は下記の殺虫剤を使用して下さい。

農 薬 名	本剤のみを使用する場合	蚕毒規制地域における留意点※
シクロパック粒剤	2回以内	使える
MR.ジョーカー粉剤DL	2回以内	使えない

※西田町、中田町及び田村町の一部が該当します。

6 カリ追肥 ～稲体を強化していもち病に備えましょう！～

カリ追肥により

根の活力の維持、稈が太くなり倒伏しにくくなる、登熟の向上

などの効果を期待することが出来ます。特に砂質水田では積極的に施用しましょう。

カリ資材散布量の目安

カリ資材	施用時期	施 用 量
ケイ酸カリ	出穂40日前	20kg/10a
塩化カリ	出穂35日前	7kg/10a

※出穂期平年値

ひとめぼれ:8/4 天のつぶ:8/6 コシヒカリ:8/12

農機具で一般道を通行する際には、他の車両の妨げにならないよう農機具の泥を良く落としましょう。



おいしいお米とは？ No.4

肥料とともに気象条件も食味を左右する条件の一つです。特に、出穂してからの登熟期の気象条件は食味に大きな影響を与えます。

米が完全に実るためには出穂後40日間の平均気温が22℃以上であることが必要です。それより低温では登熟不良となり、また25℃以上の高温でもデンプンの蓄積が阻害され、白未熟粒などの不完全米が増加します。

一般的に登熟気温が高温になるほど良食味になる傾向がありますが、近年の異常なまでの高温条件化では、むしろ水田の温度を下げるための対策が重要となっています。水の入手が可能な場合は「掛け流し灌水」や「昼間掛け流し一夜落水」の導入が有効です。

